

授業概要

科学としての心理学では、「人の心」を理解するために実験や調査が行われる。そして、実験や調査で得られた数値データは、数値の意味を解釈するために統計的処理が行われる。心理学統計法 I では、心理学で用いられるこうしたデータを統計的処理する最も基礎的手法を理解するために、演習を交えながら講義を行う。なお、本科目は心理学科の必修、卒業に必須の科目である。

授業計画

第 1 回	ガイダンス (授業の進め方, 成績評価など) / 心理統計に入る前に データと尺度
第 2 回	記述統計① データをまとめてみる
第 3 回	記述統計② 代表値, 散布度
第 4 回	記述統計③ 標準得点と偏差値
第 5 回	記述統計④ 相関関係 ピアソンの相関係数
第 6 回	推測統計① サンプルング 確率と正規分布
第 7 回	推測統計② 確率と正規分布
第 8 回	推測統計③ 確率の読み取り
第 9 回	推測統計④ 信頼区間
第 10 回	統計的仮説検定① 検定の基礎
第 11 回	統計的仮説検定② 対応無し 等分散の t 検定
第 12 回	統計的仮説検定③ 対応無し 分散が等しくない場合の t 検定
第 13 回	統計的仮説検定③ 対応有り t 検定
第 14 回	統計的仮説検定④ 独立性の検定 クロス集計表と χ^2 検定
第 15 回	統計的仮説検定⑤ 無相関の検定
第 16 回	試験の実施

到達目標

心理学研究の実験や調査で用いられる基本的統計技法や数値データの意味が理解できる。
記述統計の意味を理解し、記述統計に関する簡単な計算ができる。
推測統計の必要性が理解できる。

履修上の注意

簡単な計算を行うので、ルート計算のできる電卓などの持ち込みを可とする。
スマートフォンや携帯電話、タブレット端末などはマナーモードにし、鞆の中にしまっておくこと。
講義の最後に、受講していれば必ずわかる必須問題についての小テストを行う。

予習・復習

授業前日までに Teams に授業内容を掲載するので、教科書とともに授業資料をよく読んでおくこと。
授業内で行われた小テストの復習を行い、理解し覚えること。

評価方法

定期試験 50%, 受講態度 20%, 講義内での小テスト 30%にて総合的に評価する。

テキスト

- ・教科書名：やさしく学べる心理統計法入門
- ・著者名：鈴木公啓
- ・出版社名：ナカニシヤ出版
- ・出版年 (ISBN)：2018 年 (978-4-7795-1305-3)・教科書名：